

学校法人 啓明学院

啓明学院中学校・高等学校

2018年度「学校評価」調査報告

## 調 査 概 要

調 査 主 体：啓明学院中学校・高等学校

調 査 名：「啓明学院中学校・高等学校 学校評価」

調 査 対 象 者：2018 年度在校生・保護者・教職員

調 査 方 法：質問紙配布法・郵送法

調査実施期間：2019 年 1 月 31 日～2 月 25 日

有効回収率：中学生＝99%・高校生＝96%・中学保護者＝64%・高校保護者＝54%・教職員 100%

## 主なアンケート結果

### 生徒

Q. 2018 年度に何かにチャレンジしたことはありますか。

中学生 － ある＝92%（上位 3 項目＝①部活動 ②学校行事 ③かけ足\*）

高校生 － ある＝91%（上位 3 項目＝①部活動 ②学校行事 ③勉強）

\*中学生全員が放課後、週 4 回行う長距離走。1 日 3km 以上を走る。

Q. 学校生活で自分自身の成長に役立っていると思うものは何ですか。

中学生 － 上位 3 項目＝①勉強 ②部活動 ③かけ足

高校生 － 上位 3 項目＝①部活動 ②勉強 ③友人関係

Q. 留学や海外研修・ボランティアに対する興味・関心はありますか。

中学生 － ある＝66%

高校生 － ある＝75%

Q. 人を思いやる心を大切にし、登下校中のマナーを守ろうと心がけていますか。

中学生 － 心がけている＝88%

高校生 － 心がけている＝94%

Q. 家族に学校での活動について話をすることはありますか。

中学生 － ある＝96%（上位 3 項目＝①部活動 ②友人 ③学校行事）

高校生 － ある＝91%（上位 3 項目＝①部活動 ②友人 ③勉強）

## 保護者

Q. 2018年度1年間で、参加した学校行事・活動は何ですか。

中学生保護者 - 上位3項目=①体育祭 ②文化祭 ③部活動

高校生保護者 - 上位3項目=①文化祭 ②体育祭 ③部活動

Q. お子様はどの面で成長したと感じますか。

中学生保護者 - 上位3項目=①思いやる心 ①チャレンジ精神 ③自立心

高校生保護者 - 上位3項目=①思いやる心 ②チャレンジ精神 ③責任感

Q. お子様はわからないことについて調べようとする姿勢を感じますか。

中学生保護者 - 感じる=60% 元々できている=2%

高校生保護者 - 感じる=68% 元々できている=3%

Q. お子様は留学や海外研修・ボランティアに興味・関心を持つようになったと感じますか。

中学生保護者 - 感じる=55% 元々持っている=3%

高校生保護者 - 感じる=56% 元々持っている=7%

## 教師

Q. 生徒の成長に役立っている活動は何か。

上位3項目=①授業 ②部活動 ③かけ足

Q. 生徒にチャレンジの機会が設けられているか。

設けられている=96%

Q. 生徒の自主・自律を育む取り組みがなされているか。

なされている=68%

Q. 他者を思いやる心を大切にする指導が行われているか。

行われている=80%

Q. 留学や海外研修。ボランティアに対する興味。関心がわくような指導が行われているか。

行われている=85%

## 総 評

学校関係者評価委員会からの主な助言・提言は以下のとおり。

- ① 多くの生徒が「チャレンジ」を意識している。「チャレンジ」という言葉にはいろいろな捉え方がある。「新しいことにトライする」「苦手なことに挑む」「これまで取り組んできたことを更に向上心を持って取り組む」などなど。そのすべてが生徒の成長に繋がる「チャレンジ」であり、とても大切である。これからも推し奨めていくべきである。
- ② 保護者の方々の学校教育への関心度が高いことが伺える。体育祭や文化祭、部活動の試合など、学校活動の成果発表の場に保護者の方々が来られるのはよいことだ。また、全保護者の1/3の方々が『育友会\*』活動に参加されていることも多いといえる。生徒の成長のために、保護者とよりの確にコミュニケーションをとり、共に歩んでいくよう努めてもらいたい。  
\*学院の諸活動を支える保護者の会。一般的にはPTAにあたる会。
- ③ 家庭でのコミュニケーションがよくとれている。親子間で話題を共有しやすい環境があると考えられる。
- ④ いま社会では、若い人を中心にコミュニケーション能力が不足していると感じられる。啓明学院では、広い意味のコミュニケーション能力を育む教育が行われることを期待する。
- ⑤ 生徒の「成長に役立っているもの」のうち「礼拝」は、中学生が7%、高校生が13%と数値が低い。しかし、学校生活の3年間あるいは6年間で毎日礼拝に出て培ったものは、卒業してから5年・10年経ってようやくその意味がわかってくる。在学中にそれを認識できている数値としては高いと評価できる。これからも礼拝の時間を大事にしてもらいたい。

学校関係者評価委員会の各委員から、啓明学院の教育について示唆に富む多くの意見をいただきました。今年度のアンケートは基本的に前年度の設問を踏襲する形で構成しました。来年度も同じ形とし、経年変化や傾向分析を加えて、啓明学院の教育の状況をより細かく把握した報告にする予定です。これについても期待しているとの意見が出されました。教職員は、委員会からの意見を真摯に受け止め、めまぐるしく変化する社会に目を向けながら、建学の精神を揺るがすことなく、生徒に視線を置いた教育に一丸となって取り組んでまいります。